

平成26年6月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成26年6月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部河川整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>5. 市街地の水害対策について</p> <p>(1) 市街地での浸水被害対策は、一刻も放置できない課題になっていると思うが、県の認識はどうか。</p> <p>(2) 船橋市内の飯山満川では、現在3つの調節池の整備が進められているが、いつ完成するのか。</p>	<p>1 市街地は、舗装率が高く、浸透面積が少ないことから、降雨時における河川への雨水流入は、地方部の河川と比較して、流量も多く短時間に河川に到達します。</p> <p>2 気象庁の1976年から2013年までの記録で見ますと、「時間50ミリメートル以上」の短時間強雨の年間観測回数は増加傾向にあり、これにともなう河川の増水や低地の浸水が心配されているところです。</p> <p>3 県としては、河川整備の推進及び市町村における雨水貯留・浸透施設の整備や洪水・内水ハザードマップの作成などを支援することにより、市街地での浸水被害の軽減に努めてまいります。</p> <p>1 飯山満川につきましては、3つの調節池整備の計画があり、そのうち1つの調節池が完成しているところです。</p> <p>2 残る2つの調節池についても、現在、整備手法について検討しているところです。この結果を踏まえて、工事に着手してまいります。</p>	<p>県土整備部長 永田健</p> <p>県土整備部長 永田健</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>(3) なぜ飯山満川の下流は改修に着手しないのか。</p>	<p>1 飯山満川の下流については区画整理事業の計画があり、この区画整理事業によって生み出される土地を利用し、早期に整備することを目指していたところです。</p> <p>2 しかし、この区画整理事業の実施が不確定であることから、今後、市等の関係者と協議を行い、河川の先行整備を検討してまいります。</p>	<p>県土整備部長 永田健</p>
<p>(4) 海老川の調節池の整備で今後の用地取得の見通しはどうか。 (5) 見通しがないのであれば、思い切って設計変更を決断し、買収済みの土地を活かして調節池を使えるようにすべきと思うがどうか。</p>	<p>((4) 及び (5) 一括答弁)</p> <p>1 海老川調節池は、下流域の浸水被害の軽減を図る治水施設として整備を進めているところであり、平成25年度末時点で約92パーセントの用地を取得したところです。</p> <p>2 残る用地は点在しておりまして、この部分を除いて調節池を整備することは困難な状況です。</p> <p>3 こうしたことから、今後も引き続き、地元との協力を得ながら、残る用地の早期取得に努めてまいります。</p>	<p>県土整備部長 永田健</p>
<p>(6) 飯山満川、海老川について抜本的な予算措置を行い、明確な完了年度を住民にも示し、船橋市とも総合的な治水対策を協議すべきと思うがどうか。</p>	<p>1 現在、海老川については調節池の用地取得に努めているところであり、また、飯山満川については、飯山満駅周辺において護岸整備を進めているところです。</p> <p>2 県では、県立船橋啓明高校のほか5校、船橋市の塚田小学校ほか1.8の小中学校で雨水貯留施設を設置しており、船橋市と連携した総合的な治水対策に取り組んでいます。</p>	<p>県土整備部長 永田健</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>(7) 完成までの間、住宅のかさ上げや自家用車を持ち上げる機械の導入、被害にあっしまったときの復旧経費などへの補助金も検討すべきと思うがどうか。</p>	<p>1 浸水被害を想定した住宅のかさ上げ等への補助金制度の創設については、考えておりません。</p> <p>2 今後も、引き続き河川整備を着実に推進し、浸水被害の軽減に努めてまいります。</p>	<p>県土整備部長 永田健</p>